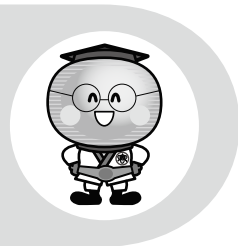


戦後の工業と、公害への 取りくみをのぞいてみよう!



① 四大工業地帯とよばれていたころ

1950年代に入ると、港がさらによくなったり、交通が便利になったりしたことから、工業が急
に発展し、北九州は、日本の「四大工業地帯」(*)の一つ、「北九州工業地帯」とよばれるよう
になりました。

戸畑にも、八幡製鐵所などの大きな工場がいくつもあったので、工業のさかんなところとして、
全国的に有名になりました。

② 工業がさかんになっておこってきた公害

◆「死の海」洞海湾

しかし、工業がさかんになると、工場から出る水や油、煙などで海の水や空気がよごれ
る公害が発生しました。1965年(昭和40年)ごろには、洞海湾は、魚がまったくすめなくなり、
「死の海」とよばれるようになりました。洞海湾に入ってくれば、船のそこについた貝などが死
んでしまうといわれるほど、海の水がよごれていました。



工場から海に流れ出すきたない水や油

そのころの洞海湾
はとてもよごれていて、渡船の
甲板にしぶきがかかるとそうじが大
変でしたよ。お客さんの服がよごれ
ることもよくありました。



若戸渡船の元船長さん

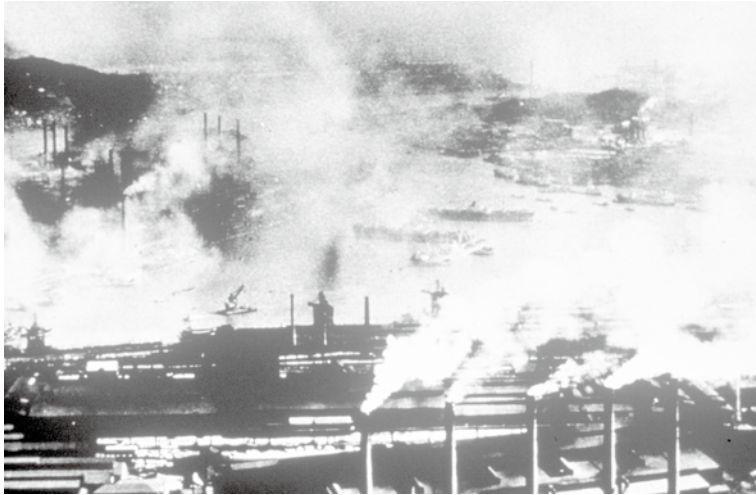


工業地帯…工業がさかんで、たくさんの工場が集まっている地域のこと。そのころ、とく
に大きな4つの工業地帯を「四大工業地帯」とよんでいました。

※35から37ページの写真は、故 林えいだい氏提供(北九州市環境ミュージアム協力)

なないろ そら
◆七色の空

こうじょう で けむり えん どうかいわん そら にじ なないろ か こうじょう
工場から出る煙（ばい煙）は、洞海湾のまわりの空を虹のような七色に変えました。工場から
で える えん のために、ぜんそくなどの病気にかかる人がたくさん出ました。また、ばい煙は洗た
えん せん
く物をよごしたり、家の屋根にふりつもったりして、生活や健康に大きなえいきょうをあたえま
も の いえ やね せいかつ けんこう おお
した。



こうじょう だ けむり
工場から出される煙



えん かお こ
ばい煙で顔がすすけた子ども



とばた す じょせい
そのころから戸畑に住む女性

かせ む わる せん
風の向きが悪いと、洗た
もの えん くろ
く物がばい煙でまっ黒になりました。
いえ
家のゆかやたたみの上もばい煙でよごれるの
うえ えん
で、夏でも窓を開けることができません
なつ まど あ
でした。

あおぞら
◆「青空がほしい！」

あおぞら こうがい さいしょ かつどう はじ とばた ふじんかい ひと めの
「青空がほしい、公害をなくそう」と最初に活動を始めたのは戸畑の婦人会の人たちでした。布
やね けむり くうき しら
を屋根につるして空気のごれかたを調べたり、
びょうき やす こ かつ ねんかんしら
病気で休んでいる子どもの数を6年間調べたり
こうがい こま ようす こうじょう ひと
して、公害で困っている様子を工場の人たちに
つた なんと なんと こうじょう い こ
伝えました。何度も何度も工場へ行き、「子ど
けんこう けむり だ
もの健康のため、よごれた煙を出すのをやめて
ください」とうったえました。

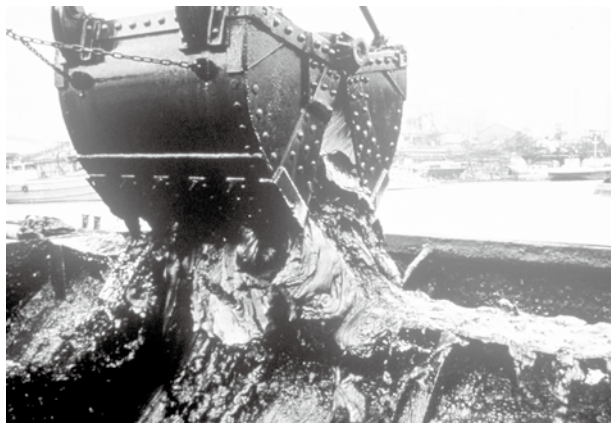
このような活動が、やがて工場の人たちや北
かつどう こうじょう ひと きた
九州市の政治をする人たちの心を動かして、み
きゅうしゅうせい ひと こころ うご
んなで公害をなくす努力をするようになったの
こうがい どりよく
です。



くうき しら ふじんかい ひと
空気のごれを調べている婦人会の人たち

よごれていた^{どうかいわん}洞海湾^{うみ}は海^{なんねん}のそこのヘド口^とを何年もかけて取りのぞき、工場^{こうじょう}からよごれた水^{みず}を流^{なが}してはいけない、という決まり^きもつくられました。

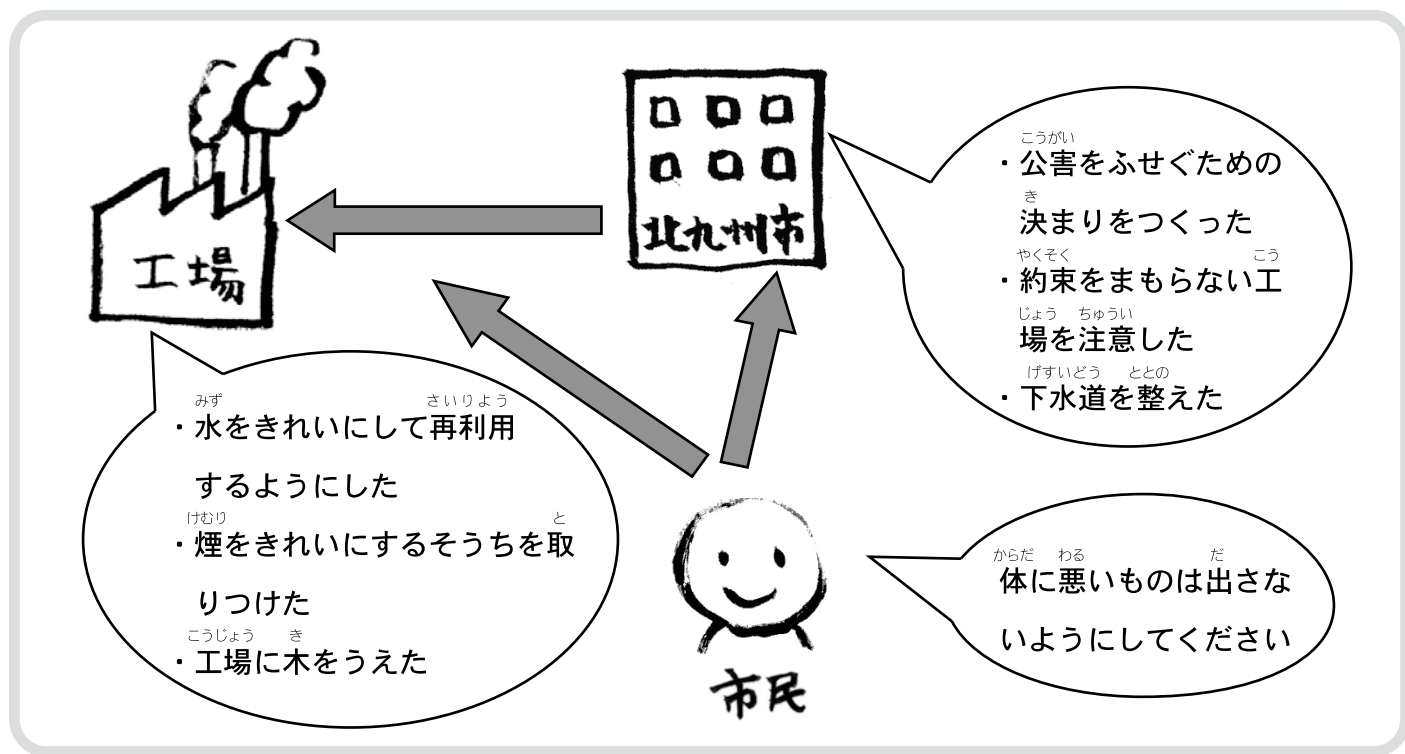
また、えんとつ^でから出る煙^{けむり}は、工場^{こうじょう}の中^{なか}できれいにして、体^{からだ}に害^{がい}のないもの^だしか出せないよう^きな決まり^きもできました。



ヘド口^あをすくい上げて^{うみ}海^{うみ}をきれいにする



煙^{けむり}をきれいにするそうち



◆取りもどした「青い空」と「青い海」

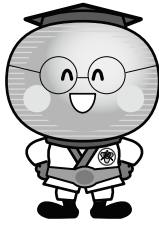
戸畑^{とばた}の婦人会^{ふじんかい}の人^{ひと}たちのような市民^{しみん}、工場^{こうじょう}の人^{ひと}たち、市役所^{しやくしょ}の人^{ひと}たちが、みんな「わたしたちのまちをきれい^きにしたい」という気持ち^{きも}で取りくみしました。そのおかげで、1987年^{ねん}(昭和62年^{しやうわ})には環境庁^{ねん}から「星空^{かんきやうちやう}の街^{ほしぞら}・百選^{まち}」に選ば^{ひやくせん}れました。また、1990年^{ねん}(平成2年^{へいせい})には、国際連合^{こくさいれんごう}の「グローバル500」^{じゆしやう}(※)を受賞^{うつく}し、美しい環境^{かんきやう}を取りもどしたまち^ととして表彰^{ひやうしやう}されました。

2011年^{ねん}(平成23年^{へいせい})12月^{がつ}には、国^{くに}から「環境未来都市^{かんきやうみらいとし}」(※)に選ば^{えら}れました。



野田元首相^{のだもとしゆしやう}から環境未来都市^{かんきやうみらいとし}の「選定証^{せんていしやう}」を受け取る北橋^{きたはし}健治^{けんぢ}北九州市長^{きたきゅうしちやう}(左)^{ひだり}
(2012年^{ねん}(平成24年^{へいせい})1月^{がつ}18日^{にち})

いま す
今でも住みやすい
かんきょう まも
環境を守るため、
みんなでがんばって
いるんだよ！



よみがえった洞海湾の美しい海と空
(故林えいだい氏提供 (北九州市環境ミュージアム協力))

③ これからも環境をまもる～環境ミュージアムに行ってみよう～



八幡東区東田にある「北九州市環境ミュージアム」に行くと、戸畑や北九州全体の工業発展の様子、公害の様子などについて、楽しく遊びながら学ぶことができます。

第1ゾーン



工業のまち北九州市のうつりかわりが分かるよ。

第2ゾーン



公害をふせぎ、住みやすい環境を取りもどすまでの歩みが分かるよ。戸畑の婦人会がつくった映画「青空がほしい」も見られるよ。

※この項目の写真は北九州市環境ミュージアム提供



グローバル500…国際連合が、環境をまもることやよくすることに力をつくした人や団体におくる賞です。北九州市は、日本の市町村として初めてこの賞を受けました。その後、1992年(平成4年)の「地球サミット」でも、公害を解決したり、解決する技術を外国に教えたりする努力がみとめられて、「国連地方自治体表彰」を受けました。環境未来都市…2010年(平成22年)に、国がかかげたプロジェクト。国に限られた都市・地域を選び、環境や高齢化などの点で、優れた取り組みを行い、それを日本国内や海外にくり広げて、景気をよくしたり、働くところを増やしたりすることを目指します。2011年(平成23年)12月に、北九州市を含む11都市が選ばれました。